

八百屋塾通信 Vol.34

八百屋塾ホームページをごらんください
▼「八百屋へ行こう」で検索
<http://www.shoukumi.or.jp/index.htm>

謹賀新年



●春菊

- ◆原産地は地中海沿岸。欧米では観賞用、日本、韓国など東アジアでは葉や茎が食用
- ◆日本には室町時代に渡来したとされる
- ◆大葉種、中葉種、小葉種があり、中葉種が主流
- ◆関東では葉の切れ込みが深く香りの強いもの、関西では切れ込みが浅く甘みの強いものが好まれる
- ◆東京中央卸売市場2021年の取扱量(kg)は1位から千葉、茨城、栃木、群馬、宮城の順



●せり

春菊とせり。どちらも香りの高い野菜で、鍋の季節には欠かせません。

- ◆日本原産。北海道から沖縄まで日本全土に自生する
- ◆セリの語源は、若葉が競り(せり)合うように生長するから
- ◆セリは「春の七草」の一つとして七草粥に入れる
- ◆栽培は、水をはったせり田のほか、畑や施設でも
- ◆施設での水耕栽培ものは年間通して出まわる
- ◆東京中央卸売市場2021年の取扱量(kg)は1位から茨城、宮城、大分、秋田、高知の順



中葉・栃木



大葉・おたふく・京都



サラダきく・茨城



一町田せり・青森



せり・茨城



仙台せり・宮城

1月22日(日)八百屋塾のテーマは、春菊とせり！

- ◆講師：宮城県農業・園芸総合研究所 高橋 勇人氏
- ◆リアルとリモートのハイブリッド開催

市場の動き

- 春菊●12月後半からの冷え込みで停滞していたが、出まわり量は前年と変わらず。◇宮城みやぎ・亘、栃木、千葉
- せり●◇宮城県名取：冷え込みの影響で生育遅れも、1月下旬よりハウス物に移行で平年並み。◇茨城なめがた：作付け減や冷え込みによる停滞で、1月出回り量は前年比減。◇秋田三関せり：若干入荷

■動画コーナーをご覧ください

実行委員長ほか取材陣の産地視察が掲載されています

動画ページへは、こちらから→



■せりの情報は八百屋塾ホームページで

◆講演：2016年2月14日 宮城県農業園芸総合研究所 山村真弓氏 ◆商品解説：東京青果(株) 鈴木孝英氏

八百屋塾ホームページへは、こちらから→

